

## 国際教養学部 教員組織編制の方針

国際教養学部は、国際教養学部国際教養学科の専門科目とともに、全学共通科目を担っている。

国際教養学部国際教養学科の教育目標は、「複数の外国語の運用能力を基礎に、言語・歴史・文化・思想・社会に関する学問分野の知見を深め、時々刻々と変化する世界情勢を見極めつつ、能動的に国際協調に貢献しうる国際的教養人を養成すること」である。また全学共通教育の教育目的は、「建学の精神と中京大学の理念に基づいて、人類が築いてきた知の成果に対する理解を深めつつ、総合的な知を身につける」ことである。こうした教育目標・目的を実現するために、次の方針にもとづき、教員組織を編制する。

- 1 国際教養学科の学位授与の方針、教育課程の編成・実施の方針を実行するために、学部固有科目の各分野に必要な人員を考慮し配置する。
- 2 全学共通教育の各科目の学修成果および学修環境を達成するために、各科目群に必要な人員を考慮し配置する。
- 3 専任教員の新規採用については、国際教養学部教授会が候補者を選考し、学校法人梅村学園理事会に推薦する。
- 4 学部の研究・教育体制の維持向上が可能となるよう教員の年齢構成を適正化する。
- 5 男女共同参画の実現の観点から、男女比率の適正化に努める。

以上